

第4章 今後の課題

本構想の冒頭で示したように、本構想は、調査・分析により明らかとなった足利の歴史文化の特性に基づき、関連文化財群を設定し、それらを踏まえて、足利市の文化財の保存活用と体制整備の方針を明らかにした。今後は、本構想で示したそれぞれの方針に基づき、保存活用の取組みの具現化が期待されるところである。

本構想の策定にあたっては、委員会を開催する等、多様な視点から検討を行ってきた。その検討過程では、本構想策定後も継続して取り組むべき点等が挙げられた。本構想が、足利市の文化財保護と文化財を活かしたまちづくりに係るマスタープランとして今後も効果的に機能させていくことを目的に、以下に今後の課題として整理する。

i. 継続的な調査の実施と新たな文化財の発掘

本構想の策定にあたっては、文化財の総合的把握として、庭園、絵馬、織物関連等、様々な分野からの文化財調査を実施してきた。しかし一方で、食文化等を含めた民俗、古くから伝えられる伝説等、足利の歴史文化を物語る上で、十分に調査が行われていない分野もあることが明らかになった。

従って、今後はこのような分野をも視野に入れ、継続的な調査を実施し、足利の歴史文化を象徴する新たな文化財の発掘が必要である。

ii. 他市町村等との連携

本構想で抽出・設定した関連文化財を構成する文化財は、基本的に足利市域に分布する文化財を対象としている。しかし、関連文化財群のテーマ・ストーリーをみると、必ずしも関連文化財群を構成する文化財が、足利市域だけに分布するものとは限らない。

従って、関連文化財群の調査にあたっては、足利市以外の地域をも対象として、関連文化財群を構成する新たな文化財の抽出を行い、関連する他の市町村等と連携を図りながら、文化財の保存活用を推進していく必要がある。

iii. 構想の見直し・更新

前述の調査により、足利の歴史文化を象徴する新たな文化財が発掘された場合等は、それら文化財を本構想で位置づけた関連文化財群として位置づけることが求められる。また、時代の経過に伴い、社会的な価値観は刻々と変化し、現時点では文化財として認識されなかったものが、将来的に文化財として捉えられる可能性もある。

従って、本構想を、今回の策定をもって未来永劫変わることはない構想と位置づけるのではなく、調査の進捗、社会環境の変化等を踏まえながら、一定の時間が経過したある時期に見直しを行い、内容の更新を図る必要がある。

iv. 「歴史まちづくり法」等との連動

本構想では、足利の文化財の保存活用についての基本的な考え方、方針を提示した。今後は本構想に基づき、具体的な保存活用の取組みを実行していくことが求められる。特に、「歴史まちづくり法」に基づく「歴史的風致維持向上計画」の策定は、本構想と連動して策定することが望まれる計画として位置づけられている。

従って、本構想策定後、保存活用の取組みの具現化に向け、同計画の策定を検討する必要がある。

<引用・参考文献>

- ・足利市役所『足利市史』上・下足利市役所 昭和3年
- ・足利市史編纂委員会『近代足利市史』第一巻～第四巻、別巻 足利市 昭和52年
- ・栃木県史編さん委員会『栃木県史』栃木県
- ・早稲田大学経済史学会『足利織物史』上・下・別巻 足利織物同業会 昭和35年
- ・荒川敏雄『画聖田崎草雲』アポロン社 昭和47年
- ・新井勝ほか『足利の人脈—江戸時代から現代まで—』下野新聞社 昭和54年
- ・足利市文化財総合調査団『足利市文化財総合調査 昭和54年度 年報Ⅰ』足利市教育委員会 昭和55年
- ・足利市文化財総合調査団『足利市文化財総合調査 昭和55年度 年報Ⅱ』足利市教育委員会 昭和56年
- ・足利市文化財総合調査団『足利市文化財総合調査 昭和56年度 年報Ⅲ』足利市教育委員会 昭和57年
- ・栃木県教育委員会事務局文化課『栃木県の中世城館跡』昭和57年 栃木県教育委員会
- ・足利市教育委員会事務局文化課『足利市遺跡地図』足利市教育委員会 平成元年
- ・足利市文化財総合調査団『足利市文化財総合調査 昭和57年度 年報Ⅳ』足利市教育委員会 昭和58年
- ・前澤輝政『新編 足利の歴史』国書刊行会 昭和58年
- ・足利市文化財総合調査団『足利市文化財総合調査 昭和58年度 年報Ⅴ』足利市教育委員会 昭和59年
- ・足利市文化財総合調査団『足利市文化財総合調査 昭和59年度 年報Ⅵ』足利市教育委員会 昭和60年
- ・足利市教育委員会『足利の文化財』昭和62年
- ・三田忠夫『足利の文学碑』足利文林会 昭和62年
- ・『足利市文化財総合調査 総括報告書』足利市教育委員会 平成元年
- ・栃木県立博物館『足利氏の歴史—尊氏を生んだ世界—』平成3年 第2版第1刷
- ・足利教育会『足利の歴史 改訂版 ひらけゆく郷土』平成3年
- ・足利教育会『改訂版 足利の自然』平成5年
- ・足利市教育委員会事務局文化課『足利市民家調査報告書』足利市教育委員会 平成9年
- ・栃木県歴史人物事典編纂委員会『栃木県歴史人物事典』下野新聞社 平成7年
- ・日下部高明・菊地卓『新編 足利浪漫紀行 知られざる歴史を訪ねて』榊随想舎 平成9年
- ・足利市文化財愛護協会『足利の神社』平成9年
- ・足利市教育委員会事務局文化課『足利市の絵馬』足利市教育委員会 平成11年
- ・足利市・足利百景をひろげる市民の会『足利百景』足利市 平成12年
- ・田村允彦・星野光行『足利の庚申塔』榊随想舎 平成14年
- ・菊地卓『慶応四年の田崎草雲—その知られざる姿—』下野新聞社 平成14年
- ・足利市教育委員会事務局文化課『足利市の近代化遺産調査報告書』足利市教育委員会 平成15年
- ・史跡足利学校事務所・足利市立美術館『足利学校—日本最古の学校 学びの心とその流れ—』足利市教育委員会・(財)足利市みどり文化・スポーツ財団 平成16年
- ・足利市教育委員会事務局文化課『長林寺の寺宝展』草雲美術館 平成17年
- ・栃木県神社庁『栃木県神社誌』平成18年
- ・足利市教育委員会事務局文化課『発掘120年 足利公園古墳と坪井正五郎』足利市教育委員会 平成18年
- ・足利市教育委員会事務局文化課『足利の石造物』足利市教育委員会 平成20年
- ・足利市文化財愛護協会『足利の廃寺』平成21年
- ・足利市教育委員会「平成20年度 市内名勝・庭園調査実績報告書」平成21年
- ・足利市教育委員会「平成20年度 鏝阿寺資料調査実績報告書」平成21年
- ・足利市教育委員会「平成20年度 市内小絵馬等民間信仰文化財調査」平成21年
- ・足利市立美術館『祈り—足利の絵馬と伝説の神仏たち—』足利市教育委員会 平成21年
- ・菊地卓『シリーズ藩物語 足利藩』榊現代書館 平成21年
- ・(財)足利市民文化財団・足利市教育委員会『足利の文化財めぐりマップ』平成21年改訂第4刷
- ・足利市教育委員会「平成21年度 市内名勝・庭園調査実績報告書」平成22年
- ・足利市教育委員会「平成21年度 市内小絵馬等民間信仰文化財調査」平成22年
- ・足利市教育委員会「平成21年度 足利市織物技術調査実績報告書」平成22年
- ・足利市教育委員会「平成21年度 足利市内美術・工芸品調査実績報告書」平成22年
- ・足利市教育委員会「歴史文化基本構想等策定のための市内建造物調査{影萬織物(旧影萬捺染工場)、中村酒店(旧中村酒造)、赤城神社、八幡神社、板倉神社}」平成22年
- ・足利市教育委員会「平成21年度 足利市内天然記念物調査実績報告書」平成22年
- ・足利市教育委員会「平成22年度 足利市内美術・工芸品調査実績報告書」平成23年
- ・御厨郷土文化研究会『—旧梁田郡—寺院とお堂—創立50周年記念—』平成22年
- ・足利市教育委員会「歴史文化基本構想等策定のための市内建造物調査{新藤家、稻荷神社}」平成23年
- ・足利市教育委員会「平成22年度 足利市内美術・工芸品調査実績報告書」平成23年